

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 日本人に対する一般犯罪の事例は、大使館ホームページの安全対策（邦人被害事例）に、件数及び事例を掲載している。

(URL : <http://www.fr.emb-japan.go.jp/jp/anzen/index.html>)

(2) 大使館に報告のあった日本人の犯罪被害件数は116件あり、その内スリが65件、置き引きが34件で、全体の85%を占めた。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 強盗発生件数：日本人の被害件数は報告されていない。

(2) 殺人発生件数：日本人の被害事例は報告されていない。

(3) 強姦発生件数：日本人の被害件数は報告されていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 7月26日、ルーアン郊外のサン・エティエンヌ・デュ・ルヴレの教会で、神父等5人を人質に取り、うち神父1人が喉を掻き切られ死亡する事件が発生。

(2) 9月4日、パリ中心部シテ島付近でガスボンベ等を積んだ不審車両が発見された（未遂）。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知されていない。

5 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

6 日本企業の安全に関する諸問題

特になし。

7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

以下の情報について緊急一斉通報メール（INSIDE）等で発信した他、大使館ホームページに掲載した。

(1) バングラデシュにおける銃撃・人質事案を受けた安全対策のための注意喚起（広域情報）

(2) ニースでのトラック突入による注意喚起（スポット情報）

(3) 緊急事態宣言延長に伴う注意喚起（スポット情報）

(4) 欧州における記念日や各種イベントを狙ったテロ等に対する注意喚起（広域情報）

(5) 犠牲際期間に伴う注意喚起（広域情報）

(6) ガス缶を積んだ不審車両発見に関する注意喚起